

# ふじさわ・九条の会ニュース

NO29



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

hp:[http://www.geocities.jp/fujisawa\\_9jo/](http://www.geocities.jp/fujisawa_9jo/)

meil:mk-muran@cityfujisawa.ne.jp(ニュース担当)

## —4・7 ふじさわ・九条の会7周年—

# 記念集会とピースパレードを開催



4月7日、藤沢市民会館小ホールにて、ふじさわ・九条の会7周年記念の集いが、地域9条の会との共催で開かれました。参加者は280名。主催者を代表して齋藤事務局長が挨拶しました。次いで地域九条の会代表、慶応大学九条の会代表が登壇し挨拶し、アトラクションとして「月桃の花」歌舞団、アフリカ太鼓「ナンカナンカ」の皆さんが歌と踊りを披露しました。

### 早乙女勝元氏が

### 記念講演

記念講演は、作家の早乙女勝元氏が、「語りつぐ平和への想い、東京大空襲と3・11」と題して約1時間お話をされました。早乙女さんは「東京大空襲」「戦争を語りつぐ」「戦争と

子どもたち」ほか多数著書があります。

## 市民会館～さいか屋まで ピースパレード

集会の後、昨年に続きピースパレードが行われました。コースは、市民会館～藤沢駅南口～さいか屋前まで。デコレーションした宣伝カーを先頭に、「月桃の花」歌舞団、アフリ



カ太鼓「ナンカナンカ」の皆さんが楽器を鳴らして続き、その後を各地域後援会の皆さんが隊列を組んで行進しました。色とりどりのゼッケン、鳴り物入りの行進に沿道の人々もビックリ。道行く人々に「一緒に憲法九条を守りましょう」とチラシを撒きながら、藤沢駅周辺を行進しました。(小林)

# 日本国憲法

## 今も最先端

分析したのは、ワシントン大学(米ミズーリ州)のデービッド・ロー教授と、バージニア大学のミラ・パーズティグ准教授。対象は成文化された世界のすべての憲法188カ国分。

# 不朽の先進性

「スティーク氏は、65年前に画期的な人権の先取りをした、とてもユニークな憲法といえる」と話す。ただ、憲法がその内容を現実の政治にどれほど反映しているかは別の問題だ。

女性の権利や移動の自由のほか、教育や労働組合の権利など、今では世界の7割以上が盛る基本的な権利がいまだに明文化されていない。一方で、武装する権利という世界の2%しかない「絶滅」寸前の条文を大切に守り続けている。

利は65年前から保障されてはいても、実際の社会進出はほかの先進国と比べて鈍い。日本では、米国の「押しつけ」憲法を捨てて、自主憲法をつくるべきだという議論もある。それについてロー氏は「奇妙なことだ」と語る。「日本の憲法が変

わらずにきた最大の理由は、国民の自主的な支持が強固だったから。経済発展と平和の維持に貢献してきた成功モデル。それをあえて変更する政争の道を選ばなかったのは、日本人の賢明さではないでしょうか」(ワシントン立野純二)

順位	権利の種類	日本	米国
1	信教の自由	○	○
2	報道・表現の自由	○	○
3	平等の保障	○	○
4	私有財産権	○	○
5	プライバシー権	○	○
6	不当逮捕・拘束の禁止	○	○
7	集会の権利	○	○
8	団結権	○	×
9	女性の権利	○	×
10	移動の自由	○	×
11	裁判を受ける権利	○	○
12	拷問の禁止	○	○
13	投票権	○	○
14	労働権	○	×
15	教育の権利	○	×
16	違憲立法審査権	○	×
17	遡及(そきゅう)処罰の禁止	○	○
18	身体的権利	○	×
19	生活権	○	○
20	推定無罪	×	×
60	武装する権利	×	○

### 憲法にうたわれている権利

—2012・5・3付け  
朝日新聞より転載—

## 実践次第

「同じ条文であっても、どう実践するかは国ごとに違う。世界の憲法は時代とともに均一化の方向に動いているが、人権と民主化のばらつきは今も大きい」。確かに日本でも、女性の権

### 一焼け野原の日本を幸福に導いた憲法を守りましょう

多くのマスコミは、報道統制下かと思まごう沈黙ぶりですが、今年に入って憲法改正への動きが急加速で進行中。「カイケン、カイケン!」と、束になって叫ぶ人達は国会議員の半数を越す65年前、憲法が焼け野原の国土の上に描いた日本の幸福。日本が夢見た幸福の上に、「そうはさせてなるものか」黒子装束にあぐらの潰け石となって座り込み、「カイケン!」を叫ばせ、戦争へ戦争へと、いつか来た道へ再び歩み出させようと扇動するのは、安保条約という名のあなたなの?  
9条の会に心をお寄せくださる皆さんどうぞ、この危うくなった日本国憲法に、今こそ生きいきとした息を吹き込んであげましょう。たくさんの不幸に押しつぶされそうになって、かろうじて今を生きているたくさんの方々にも幸福になっていただきましょう。  
この、「あえて変更する愚」を許すことのない、賢明な国民として、日本には生き抜いた人たちがいたと世界に向かって力強くアピールして参りましょう。  
(白田真木)

## 米法学者ら 188カ国を分析

## 江ノ電沿線九条の会 初夏の集い

—あの日のことを忘れないで—



「子どもたちの未来のために」をテーマに活動して7年目に入

った私たちの会では、今までで最もテーマに沿った集いの企画でした。辻堂の坂本敏江さんにご自身の本の読み聞かせをしていただきました。子どもたちは坂本さんの静かな語り口にじっと聞き入っていました。後半は茅ヶ崎のこちやけいこさん自作の「げんぱつかるた」を大人も子どもも一緒に取り合い、そのあと、カルタの読み札を資料にして原発について会場の皆さんと話し合いました。カルタの読み札は難しい言葉もたくさん出てきますので、子ども達にはすべてはわからなかったようで「意味をもっと教えてほしかった」という感想もありました。日本がアメリカの言いなりになって構造的にがんじがらめにされて脱原発は容易ではないという事実を話し合いの中で知ってびっくりした方もいました。休憩時間はお茶とお菓子で和やかに会話が進み、ほっとした時間でした。(折原美知子)

## 「望遠鏡をつくろう会」開催

—辻堂文化9条の会が  
辻堂公民館と共催—

6月17日、辻堂文化9条の会が公民館と共催で、子供達と「望遠鏡をつくろう会」を開催しました。公民館との共催事業は初めてで、宣伝や申し込み受付は公民館が担当し私たちは、講師、諸材料、手伝うスタッフ、材料の集金などを担当しました。心配だった雨も上がり、子ども達が20人(定員)も次々と詰めかけてきました。講師の先生(会のメンバー)説明の最初は「望遠鏡の仕組み」そして材料が一人一人に配られました。いよいよ制作開始。大小の厚紙ででき



た筒、老眼鏡のレンズ、倍率の高い小さなレンズなどを使い

お母様やスタッフの手を借りて、無事全員が完成、小学生の目が輝いていました。

次は、「自分で作った望遠鏡で景色を見よう」と、カメラの三脚10台くらい借り集め、望遠鏡を固定し見始めました。「見えた!」「見えない」「あれは何」と大騒ぎ。ピント合わせに苦労したけど、見えた喜び、作った達成感でみんなニコニコ顔、大満足の様子でした。完成した望遠鏡にカラーのガムテープを貼り付け、子ども達は宝物のようにしてもって帰ってゆきました。スタッフのおばさま方も「楽しかったね、次は何をやる?」と講師の先生に圧力をかけたり、公民館の職員さんも喜んで下さり、一緒に会を進めることができよかったです。

公民館にサークル登録をして、地域に根ざして活動を続けることの重要性を再確認した取り組みでした。  
(永山園子)

## 私の戦争体験記 第5集できる

6月20日に、執筆者茶話会開く



懸案だった「私の戦争体験記第5集」が完成し、6月20日執筆者の方々に

集まって頂き、完成茶話会を行いました。第5集は、A5版48頁、500部印刷しました。1部100円で販売しています。是非、多くの皆さんにご購読をおすすめします。第5集をもって、戦争体験記の発刊は終わりと致します。第3集 4集に在庫がありますので、合わせてご購読下さい。  
(永田陽子)

# ふじさわ・九条の会 2012年度全体集会開く

5月19日、藤沢市民会館において、ふじさわ・九条の会2012年度全体集会を開きました。議題は、①、2011年度活動報告、②、2011年度会計報告 ③、2012年度活動方針、④、2012年度役員確認、等を行いました。

## <島田新事務局長、活動方針提案>

新たに選出された島田啓子事務局長より、次のような活動方針の提案がありました。



4月から5月にかけて自民党、立ち上がり日本など各党が憲法改正案を発表しました。多少表現の違いはあっても国防軍の保持、軍事裁判所の設置、集団的自衛権の承認など九条改定という点では共通しています。また3・11の震災対応が遅くなったのは現憲法に非常事態条項が無かったため、この条項を導入すべきだという議論があります。この条項は、国民の権利や自由を非常時(戦時)には制限するというきわめて危険な条項です。こうした九条を取り巻く国会の動きについて、私たちは学習を深めたり、チラシなどで市民に報せてゆく事を確認しました。

一方、藤沢市では今年の4月から中学の歴史と公民では、戦争賛美、日本国憲法より大日本帝国憲法を評価している育鵬社の教科書が使われています。全体集会では参加者から再び教育が「お国のための人づくり」に利用されることを心配する発言が多く出されました。この点に関して、私たちの会としてどのように取り組むか、藤沢には教科書問題を専門的に取りくんでいる「みんなの教育ふじさわネット」という団体があるのでその団体と積極的に協力していくことを決めました。

## <2012年度の役員>

全体集会で選出された2012年度の役員は下記のとおりです。1年間よろしくお願いいたします。

### 一世話人一

青柳節子	石倉明子	井上一恵
大山正雄	岡村孝子	折原美知子
河西 昇	金子不二子	川崎 健
久保博夫	國枝 健	見城次子
小林麻須男	紺野君子	斎藤隆夫
坂本敏江	崎山 稔	佐藤 厚
島田啓子	白崎勇次郎	白田眞木
鈴木圭子	曾根和子	田島祥子
永田陽子	平田保雄	保坂治男
堀内陽子	村木 薫	持田早苗
横山 照	吉鶴美智子	渡辺聖子
渡辺慈子	渡辺博明	

(以上36人)

### 一会計監査一

永山園子

### 一事務局員一

島田(事務局長)、小林(事務局次長) 齋藤(事務局次長)、渡辺(聖)(会計)、永田金子、久保、田島、佐藤、(9人)

### 一ニュース担当一

小林、永田、折原、河西、渡辺(慈)、白田(6人)

### 一HP担当一

佐藤

### <前事務局長、

齋藤さんの復帰を願って>

「ふじさわ・九条の会」をここ藤沢市に立ち上げ、以来7年間その代表である事務局長の大役を務め、ひと癖もふた癖もある人達をまとめ、身を削りながら、憲法九条をこの地に根付かせたものは、齋藤さんの「信念を貫く平和への熱い思いと明るい性格」言い換えれば「隆夫さんの人間力」だったと思います。

一日も早く健康を取り戻し、復帰する日を待ち望んでいます。(世話人 國枝健)

(注) 齋藤さんは、体調を崩し、今回の全体集会で、事務局長を退任されることになったものです。